



教育講演会

「学校に行かなくなる子どもたち」

—子どもたちの生活体験実践から考える

石村秀登さんと妻の華代さんは、子どもの生活体験、野外体験の中での育ちの専門家であり、フリースクール「さなぎのもり」やフリースペース「そだちば」学童保育「かなえば」「うさぎ・かめクラブ」も運営する実践の人です。今の子どもたちが自然の中や野外で遊べないこと、生きる力と喜びを失いつつあることに危機を感じ、そうした場を提供して、子どもたちといっしょに活動しています。また夫妻とも大学で若者を相手に教育学を講義する理論家でもあります。

「不登校の小中学生の数は増え続けており、昨年度は18万人を超えました。学校教育はもはや機能不全の状態に陥っています。10年にわたるNPOでの様々な体験活動実践をとおして、これからの教育のあり方を構想してみたいと思います」（石村 秀登）。

日時 2月23日（火、祝日）午後2～4時

場所 メイトム宗像2F 202会議室

演題 「学校に行かなくなる子どもたち」

講師 石村 秀登

（熊本県立大学教授、教育学者、NPO法人「生活と教育」理事長、日本生活体験学習学会理事）

参加費 無料

（終了後「暖」にて、希望者は講師との交流会があります。交流会参加費はコーヒーとケーキ代の500円です）。

定員 30人

主催「子ども寺子屋カフェ」を運営する会

申込先 Tel/Fax0940-37-3560（国分）

mann@asahi.email.ne.jp（清水）

子ども寺子屋カフェは、毎月第3日曜日午後4～7時に、街道カフェ「暖（ヌアン）」（原町2042-1）で実施されている「子ども食堂」でデンマーク式ワークショップを中心とした子どもの活動場所です。

宗像市人づくりでまちづくり事業



「さなぎのもり」で遊ぶ子どもたち



石村秀登さん